

(1)

指定事業所に係る変更許可申請書

記載例6F

平成〇〇年〇〇月〇〇日

申請の内容により、記載する事項・内容が異なります。  
 実際の申請にあたっては窓口にて確認をお願いします。

横浜市長

申請者 住 所 横浜市中区日本大通1  
 氏 名 甲乙産業株式会社  
 代表取締役 甲乙 丙丁  
 （法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

指定事業所設置許可書の右上に記載されている「**横浜市環創環管指令第〇〇〇〇号**」と「年月日」を転記します。なお、平成9年**神奈川県条例第35号**による許可書の場合は**条例附則第2項にチェック**します。

横浜市生活環境の保全等に関する条例第8条第1項の規定により指定事業所に係る変更の許可を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

指定事業所の名称等	許可番号	第〇〇号	根拠等	<input checked="" type="checkbox"/> 条例第3条第1項（平成〇年〇月 〇日）
				<input type="checkbox"/> 条例第15条第1項（ 年 月 日）
				<input type="checkbox"/> 条例附則第2項
	名 称	甲乙産業株式会社 横浜工場		
所 在 地	横浜市中区〇〇町〇〇番			
変 更 事 項	<input checked="" type="checkbox"/> 指定作業の追加 <input checked="" type="checkbox"/> 指定施設の設置 <input type="checkbox"/> 指定施設の構造の変更 <input type="checkbox"/> 指定施設の配置の変更 <input type="checkbox"/> 指定施設の使用時間の変更 <input type="checkbox"/> 指定施設に係る燃料の種類又は使用量の変更 <input type="checkbox"/> 廃棄物焼却炉において焼却する物の種類及び量の変更 <input type="checkbox"/> 別表第1の68の項に掲げる貯蔵施設において保管する物質の変更 <input type="checkbox"/> 排煙指定物質、地下浸透禁止物質及び炭化水素系特定物質を含有する原材料等の新たな使用 <input checked="" type="checkbox"/> 排水の系統の変更 <input type="checkbox"/> 排水の排出先の変更 <input type="checkbox"/> 指定作業を行う建物の変更 <input type="checkbox"/> 設置 <input type="checkbox"/> 移設 <input type="checkbox"/> 除却 <input type="checkbox"/> 規模の変更 <input type="checkbox"/> 構造の変更 <input type="checkbox"/> 公害の防止のための装置の変更 <input type="checkbox"/> 設置 <input type="checkbox"/> 構造の変更 <input type="checkbox"/> 使用方法の変更 <input type="checkbox"/> 使用の廃止 <input type="checkbox"/> 除却 <input checked="" type="checkbox"/> 指定事業所の敷地の境界線の変更 <input type="checkbox"/> 指定事業所の自動車の出入口の変更（生コンクリートプラントを設置しているものに限る。）			

(2)

変更概要	事業見直しの結果、隣接事業所の敷地面積500m2を買収。(敷地境界線変更、雨水排水システム変更) そこに2階建て第二工場建屋を建設し、そこにフィルム印刷用スクリーン印刷機及び新たにチオ硫酸アンモニウムを使用する製版用現像洗浄施設を設置。 第一工場の射出成形機1台更新。	
変更完了予定年 月 日	平成〇〇年 △月〇△日	
他の公害関係法規等の手続状況	<input type="checkbox"/> 大気汚染防止法	平成 年 月 日提出
	<input checked="" type="checkbox"/> 水質汚濁防止法	平成〇年〇月〇〇日提出
	<input checked="" type="checkbox"/> 騒音規制法	平成〇年〇月〇〇日提出
	<input checked="" type="checkbox"/> 振動規制法	平成〇年〇月〇〇日提出
	<input type="checkbox"/> ダイオキシン類対策特別措置法	年 月 日 提出
	<input checked="" type="checkbox"/> 下水道法	平成〇年〇月〇〇日提出
	<input type="checkbox"/> 廃棄物の処理及び清掃に関する法律	年 月 日 提出
	<input type="checkbox"/> その他 ( )	年 月 日 提出
連絡先	総務部 総務課 総務係 担当者氏名 甲乙 丁甲 電話番号 045-000-0000 (内線) 000 住所 <input type="checkbox"/> 申請者住所と同じ <input checked="" type="checkbox"/> 指定事業所所在地と同じ <input type="checkbox"/> その他	
添付書類	・ 指定事業所に係る変更概要書 (第7号様式) <input checked="" type="checkbox"/> 公害防止方法変更概要書 (第8号様式) <input type="checkbox"/> その他 ( )	

- (注意) 1 他の公害関係法規等の手続状況の欄には、手続を行った法規について□内にレ印を記入し、その手続を行った年月日を記入してください。
- 2 連絡先の欄の住所でその他の□内にレ印を記入した場合は、住所を記入してください。
- 3 添付書類の欄でその他の書類を添付した場合には□内にレ印を記入し、その添付した書類の名称を( )内に記入してください。

(A4)

(3)

指定施設の設置状況						
指定作業及び 指定施設番号			事業所における 施設番号	指定施設の名称	規模又は能力	備 考 (新設・既設等)
1 3	1	1	P-1	射出成形機	150t	今回廃止
1 3	1	1	P-2	射出成形機	150t	既設
1 3	1	1	P-3	射出成形機	200t	今回新設
5 1	1	8	S-1	破碎施設	3.7kw	既設
6 7	1	3	M-1	湿式研磨施設	850Lx3300wx800H	既設
6 0	1	1	A-1	動力印刷機 (スクリーン印刷機)	最大420x594	今回新設
6 0	1	2	T-1	製版用現像洗浄 施設	850Lx600wx750H	今回新設

(注意) 1 事業所における施設番号の欄には、事業所で管理のために付けている番号、記号等を記入してください。

2 指定施設の名称の欄には、別表第1の施設の欄の名称を記入してください。

(A4)

第7号様式（第13条第3項第2号）

（表）

指定事業所に係る変更概要書

1 指定施設の設置

指 定	指定作業及び指定施設番号		13-(1)-(1)	60-(1)-(1)	60-(1)-(2)	
	名 称		射出成形機	動力印刷機 (スクリーン印刷機)	製版用現像洗浄施設	
	事業所における施設番号		P-3	A-1	T-1	
	種 類 及 び 型 式		〇〇社製××型	〇〇社製△△型	△△社製〇×型	
	台 数		1	1	1	
	規 模 又 は 能 力		200t	最大420mmx594mm	800Lx500wx800H	
	用 途		プラスチック成形	フィルム印刷	製版用	
施 設	構 造 ・ 配 置 状 況		別紙〇・別図△	別紙〇・別図△	別紙〇・別図△	
	燃 料 又 は 電 力	種 類				
		燃 料 中 の 成 分 割 合 (%)	硫黄分			
			窒素分			
		総 発 熱 量				
		通 常 の 使 用 量				
	原 材 料 (排煙の発生 に影響のある ものに限る。)	種 類			トルエン・キシレン	
		原 材 料 中 の 成 分 割 合 ( % )			〇〇%, 〇〇%	
		1 日 の 使 用 量			〇〇ℓ	
	使 用 状 況	1 日 の 使 用 時 間	8:00~18:00	8:00~18:00	8:00~18:00	
季 節 変 動		なし	なし	なし		

(注意) 1 指定施設の名称の欄には、別表第1の施設の欄の名称を記入してください。

2 事業所における施設番号の欄には、事業所内で管理のために付けている番号、記号等を記入してください。

3 指定施設の原材料中の成分割合の欄には、硫黄分、窒素分及び燃焼に伴い排煙指定物質を排出する可能性のある成分について、その割合を重量比・容量比の別を明らかにして記入してください。

4 指定施設の熱源として電力を使用する場合は、種類の欄に「電力」と記入してください。



第8号様式（第13条第3項第3号）

公害防止方法変更概要書

変更に係る指定施設等の公害発生源	発生する公害の種類	発生源での公害の程度の予測値	排出口・敷地境界線等での公害の程度の予測値		公害防止対策 (予測値の算出根拠を含む。)
			変更前	変更後	
成形施設 P-3	騒音	88dB(1m)		52dB	建屋・距離減衰
成形施設 P-3	振動	68dB(1m)		基準値以下	距離減衰・強固な基礎、防振ゴム
成形施設 P-3	悪臭			臭気指数〇以下	建屋内
動力印刷機A-1	騒音	68dB(1m)		50dB	建屋・距離減衰
動力印刷機A-1	振動			基準値以下	距離減衰・強固な基礎、防振ゴム
動力印刷機A-1	トルエン	50ppm		100ppm以下	同等施設実測値、計算書
動力印刷機A-1	キシレン	80ppm		150ppm以下	同等施設実測値、計算書
動力印刷機A-1	悪臭			臭気指数〇以下 (排気口)	
現像洗浄施設T-1	排水				排水処理施設で処理後公共水域放流
現像洗浄施設T-1	地下浸透禁止物質				不浸透材質床等
指定施設等から発生する公害とこれに対する具体的な防止の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>㊦ 排煙の排出方法概要書</li> <li>□ 窒素酸化物の排出量明細書（ボイラーに限る。）</li> <li>□ 窒素酸化物の排出量明細書（ガスタービン、ディーゼルエンジン及びガスエンジンに限る。）</li> <li>□ 炭化水素系物質の排出に係る施設の排出防止方法概要書（貯蔵施設、出荷施設及び給油施設に限る。）</li> <li>□ ばいじんの排出量明細書（廃棄物焼却炉に限る。）</li> <li>□ 廃棄物焼却炉及び廃棄物焼却炉に係る排出ガス処理施設の設備概要書</li> <li>□ 粒子状物質の排出量明細書</li> <li>□ 粉じんの処理方法概要書</li> <li>㊦ 悪臭の処理方法概要書</li> <li>㊦ 排水の汚染状態及び量等の明細書</li> <li>㊦ 排水の処理方法概要書</li> <li>㊦ 地下浸透禁止物質の製造等をする作業に係る施設の構造概要書</li> <li>㊦ 騒音の処理方法概要書</li> <li>㊦ 振動の処理方法概要書</li> <li>㊦ 上記に掲げる書類のほか、指定施設等から発生する公害とこれに対する具体的な防止の方法を明らかにする図面、表等</li> </ul>				

(注意) 1 発生する公害の種類のカラムには、大気汚染及び水質汚濁に係るものについては、別表第2から別表第9まで、別表第11及び別表第12に掲げる物質名を記入してください。

2 指定施設等から発生する公害とこれに対する具体的な防止の方法は、規則第94条に基づき環境創造局長が定める様式の書類を用いることとし、添付したものについて□内に㊦印を記入してください。

排煙の排出方法概要書

指定事業所における排煙を発生する施設の番号		A-1 動力印刷機				
指定事業所における排煙処理施設の番号		A-1-1				
排煙処理施設の種類、名称及び型式		局排				
排出ガス量(定格能力) ( $m^3N/h$ )		湿り	3600			
		乾き				
排出ガス中の酸素濃度		(%)				
処 理 の 能 力	排出ガス温度(°C)		処 理 前	常温		
			処 理 後			
	排 煙 の 濃 度	硫 黄 酸 化 物 (容量比ppm)	処 理 前			
			処 理 後			
		窒 素 酸 化 物 (容量比ppm)	処 理 前			
			処 理 後			
		ば い じ ん ( $g/m^3N$ )	処 理 前			
			処 理 後			
	ト ル エ ン (ppm)	処 理 前	50			
		処 理 後				
	キ シ レ ン (ppm)	処 理 前	80			
		処 理 後				
	除 去 率 (%)	硫 黄 酸 化 物				
		窒 素 酸 化 物				
ば い じ ん						
ト ル エ ン						
キ シ レ ン						
排出口の高さ及び口径(m)		10mXφ0.5m				

(注意) 1 排煙処理施設を設置していない場合は、排出ガスの温度及び排煙の濃度を処理前の欄に記入してください。

2 排煙の濃度の欄には、乾きガス中の濃度を記入してください。

3 排煙の濃度及び除去率の欄には、当該施設から発生する排煙中に含まれる硫黄酸化物、窒素酸化物及びばいじんについて記入するほか、炭化水素系特定物質及び排煙指定物質について、それぞれ当該物質の種類ごとに記入してください。

4 ばいじん濃度等の酸素濃度補正を行う施設については、補正値を記入してください。

悪臭の処理方法概要書

<p>発生源の概要</p>	<p>・射出成形機から発生する樹脂臭</p>
<p>処理方法</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 悪臭の漏れにくい構造の建物内で作業を実施</p> <p><input type="checkbox"/> 脱臭設備の設置</p> <p>設備の種類、名称及び型式（ ）</p> <p>湿式、乾式の区分（湿式・乾式）</p> <p>設備の処理能力（処理ガス量<math>m^3N/h</math>）（ ）</p> <p>排出口の実高さ、頂口径（ ）</p> <p><input type="checkbox"/> 悪臭を発生する作業は屋内で実施</p> <p><input type="checkbox"/> 悪臭を発生する作業は屋外で実施</p> <p>その理由</p> <p>（ ）</p> <p><input type="checkbox"/> 周辺に影響を及ぼさない位置で作業を実施</p> <p><input type="checkbox"/> 悪臭を発生する原材料等の保管</p> <p>保管方法</p> <p>（ ）</p>

- （注意） 1 □のある欄には、該当する□内に✓印を記入してください。
- 2 周辺に影響を及ぼさない位置で作業を実施する場合には、作業実施位置図を添付してください。



悪臭の処理方法概要書

<p>発生源の概要</p>	<p>・スクリーン印刷機から発生するインク、溶剤臭</p>
<p>処理方法</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 悪臭の漏れにくい構造の建物内で作業を実施  <input checked="" type="checkbox"/> 脱臭排気設備の設置                  設備の種類、名称及び型式（局排）                  湿式、乾式の区分（湿式・乾式）                  設備の処理能力（処理ガス量<math>m^3N/h</math>）（ 3600 ）                  排出口の実高さ、頂口径（10mH×<math>\phi</math>0.5m）  <input checked="" type="checkbox"/> 悪臭を発生する作業は屋内で実施  <input type="checkbox"/> 悪臭を発生する作業は屋外で実施                  その理由                  （ ）  <input type="checkbox"/> 周辺に影響を及ぼさない位置で作業を実施  <input checked="" type="checkbox"/> 悪臭を発生する原材料等の保管                  保管方法                  （インキ・シンナー類は、保管庫に密閉して保管 ）             </p>

- （注意） 1 □のある欄には、該当する□内に印を記入してください。  
 2 周辺に影響を及ぼさない位置で作業を実施する場合には、作業実施位置図を添付してください。

(1)

排水の汚染状態及び量等の明細書

項 目			排 水 量 (m <sup>3</sup> /日)		pH	BOD (mg/ℓ)		COD (mg/ℓ)		SS (mg/ℓ)		
			通常	最大		通常	最大	通常	最大	通常	最大	
排水 処理 施設 名	①	排水処理施設	処理前	2	4	3.5	20	30	25	30	20	30
			処理後	2	4	7.0	10	20	15	20	10	20
	②		処理前									
			処理後									
	③		処理前									
			処理後									
排水 口 別	No.1(公共水域-工程系污水)			2	4	7.0	10	20	15	20	10	20
	No.2(下水-生活系污水)			8	10	7.5	15	20	15	20	40	60
	NO.3(雨水)			0	0							
合 計				0	0							

項 目			nヘキサン抽出物質 (mg/ℓ)				大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )		六価クロム (mg/ℓ)				
			鉱油類		動植物油脂								
			通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	
排水 処理 施設 名	①	排水処理施設	処理前	3	5					250	300		
			処理後	<1	<1					0.1	0.2		
	②		処理前										
			処理後										
	③		処理前										
			処理後										
排水 口 別	No.1(公共水域-工程系污水)			<1	<1				<0.5	<0.5			
	No.2(下水-生活系污水)			<5	<5								
	NO.3(雨水)												

(注意) 1 「排水口別」の左欄には事業所内で管理のため付けている排水口の名称・記号等を記入し、右欄には流入する排水処理施設の番号(①、②、③)を記入してください。

2 「合計」の欄には、排水口別の水量の合計を記入してください。

3 項目の欄に記載のない項目については、次の項目のうち排出のおそれのある項目について記載してください。

カドミウム、シアン、有機<sup>りん</sup>燐、鉛、六<sup>び</sup>価クロム、砒素、水銀、アルキル水銀、ポリ塩化ビフェニル、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、ほう素、ふっ素、アンモニア等、ダイオキシン類、フェノール類、銅、亜鉛、溶解性鉄、溶解性マンガ、ニッケル、クロム及び1,4-ジオキサン

(2)

項目			(mg/l)		(mg/l)		(mg/l)		(mg/l)		(mg/l)	
			通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
排水処理施設名	①	処理前										
		処理後										
	②	処理前										
		処理後										
	③	処理前										
		処理後										
排水口別												

項目			(mg/l)		(mg/l)		(mg/l)		(mg/l)		(mg/l)	
			通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
排水処理施設名	①	処理前										
		処理後										
	②	処理前										
		処理後										
	③	処理前										
		処理後										
排水口別												
添付書類	㊦ 排水口の事業所内位置図											

(注意) 添付する「排水口の事業所内位置図」には、排水処理施設と排水口を記入してください。

(A4)

下水道に接続の場合は記載不要

排水の処理方法概要書

処 理 施 設	処理施設の名称及び種類		排水処理施設	
	設置場所		別紙〇〇のとおり	
	工事着手予定年月日		〇年〇月〇日	
	工事完成予定年月日		〇年〇月〇日	
	使用開始予定年月日		〇年〇月〇日	
	型式		〇〇社製〇〇型	
	構造		コンクリート製	
	主要寸法		別紙（〇）のとおり	
	能力（m <sup>3</sup> ／日）		〇〇m <sup>3</sup> ／日	
	処理方法		油水分離、 中和、 凝集沈殿分離	
	設計計算書		〇〇m <sup>3</sup> ／日	
設 置 状 況	月使用日数等	<input type="radio"/> 時間／回 <input type="radio"/> 回／日 <input type="radio"/> 日／月	時間／回 回／日 日／月	
	季節変動	なし		
使 用 す る 消 耗 資 材	名称	硫酸、苛性ソーダ、高分子凝集剤、硫酸バンド		
	用途別	中和、凝集		
	1日当たりの使用量	硫酸(〇kg)、苛性ソーダ(〇kg)、高分子凝集剤(〇kg)、硫酸バンド(〇kg)		
添付図面		ㄥ 排水処理施設の構造・規模・能力を説明する図面及び設計計算書		



騒音の処理方法概要書

(単位 デシベル)

発生源である施設等		成形施設 P-3	動力印刷機 A-1		
㉑ 発生源での騒音レベル		1 m 88 d B	1 m 68 d B	m d B	m d B
騒音対策による減衰値	㉒ 音源対策による減衰				
	㉓ 距離減衰	6 m 16 d B	8 m 18 d B	m d B	m d B
	㉔ 建屋による減衰	ALC 20 d B	ALC 20 d B		
	㉕ 防音壁等による減衰				
	㉖ 減衰値合計 ㉒+㉓+㉔+㉕	36 d B	38 d B		
敷地境界線での騒音レベル予測 ㉑-㉖		52 d B	30 d B		
防音対策の具体的内容		ALC(50mm) 別紙( )の建屋の構造図のとおり	ALC(50mm) 別紙( )の建屋の構造図のとおり		
施設の使用時間		8時00分～ 18時00分	8時00分～ 18時00分	時 分～ 時 分	時 分～ 時 分
当該事業所に適用される規制基準値		【午前8時から午後6時まで】 70 d B	【午前6時から午前8時まで及び午後6時から午後11時まで】 65 d B	【午後11時から午前6時まで】 55 d B	
添付図面		施設等の位置及びその位置から敷地境界線までの距離を示した図面			

振動の処理方法概要書

(単位 デシベル)

発生源である施設等		成形施設 P-3	動力印刷機 A-1		
㉠ 発生源での振動レベル		1 m 68 dB	1 m 65 dB	m dB	m dB
振動 対策 に よ る 減 衰 値	㉡ 防振対策による減衰	5 dB	5 dB		
	㉢ 距離減衰	6 m 10 dB	8 m 10 dB	m dB	m dB
	㉣ その他				
	㉤ 減衰値合計 ㉡+㉢+㉣	15 dB	15 dB		
敷地境界線での振動レベル予測 ㉠-㉤		53 dB	50 dB		
防振対策の具体的内容		防振ゴム 別紙( ) 基礎図のとおり	防振ゴム 別紙( ) 基礎図のとおり		
施設の使用時間		8時00分～ 18時00分	8時00分～ 18時00分	時 分～ 時 分	時 分～ 時 分
当該事業所に適用される 規制基準値		【午前8時から午後7時まで】 70 dB		【午後7時から午前8時まで】 60 dB	
添付図面		施設等の位置及びその位置から敷地境界線までの距離を示した図面			